

鋼構造架設施工指針

土木学会



B 1 1 0 8 0 7 9 B
土 木 図 書 館

鋼構造架設施工指針

Construction Rules for Erection of Steel Structures

登 録	昭和 58. 3. 10 年 月 日
番 号	第 27295 号
社団 法人	土 木 学 会
附 属	土 木 図 書 館

土木学会編

御 案 内

土木学会の出版物の著作権，出版権を守るために，著書，論文等への大幅な引用，転載は心ず学会の許諾を得て下さい。コピーも私的利用の範囲を越えることは法律で禁じられています。

社団法人 土木学会

ま え が き

昭和53年5月、土木学会より「鋼構造架設設計指針」を刊行した。

鋼構造物架設工事に関しては、架設工事発注前に、鋼構造架設設計指針を用いて、架設設計計算を行うことにより、架設工事の安全性を高めることを目的としたものである。

このように周到な架設計画、架設設計計算が行われる場合においても、架設の計画、設計と現地の架設時の条件が異なる場合があり、また、架設時の構造物は荷重条件、支持状態が明確でなく、その形状、力学的性状が変動し、架設計画設計の条件と異なる場合が生ずるので、架設施工にあたっては、十分注意する必要がある。

鋼構造架設施工指針は、鋼構造物の架設施工を安全に行うための一般的標準・注意事項を示したものである。

鋼構造物の架設施工に関し、本架設施工指針を用いるか、構造物の種類、架設時の特殊条件に合わせて、本指針を補足・修正して使用されることにより、架設施工の安全性が高められることを望むものである。

昭和57年12月

土木学会鋼構造委員会
鋼構造架設小委員会
委員長 菊池洋一

土木学会鋼構造委員会鋼構造架設小委員会構成

(50音順, 敬称略, ◎印幹事長兼務, ○印幹事兼務)

委員長	菊池洋一	名古屋大学工学部
委員	阿部英彦	国鉄構造物設計事務所
〃	池田肇	横河工事株式会社
〃	○梅沢富士夫	トビー建設株式会社
〃	大橋昭光	本州四国連絡橋公団企画開発部
〃	加藤正晴	首都高速道路公団東京保全部
〃	○近藤明雅	名城大学理工学部
〃	○佐藤章次	名古屋高速道路公社工務部
〃	笹戸松二	長岡技術科学大学工学部
〃	篠田亮	国鉄構造物設計事務所
〃	島田静雄	名古屋大学工学部
〃	白石隆義	株式会社ダイクレ
〃	鈴木俊男	東京エンジニアリング株式会社
〃	田島二郎	埼玉大学工学部
〃	高見昌信	建設省道路局
〃	○富塚統昭	日本鋼管工事株式会社
〃	◎中野昭郎	国鉄構造物設計事務所
〃	成田信之	建設省土木研究所
〃	○波多野孝	新日本製鐵株式会社
〃	福本昤士	名古屋大学工学部
〃	○星野満	建設省道路局
〃	○前田紘道	横河工事株式会社
〃	○松井友二	三菱重工工事株式会社
〃	松岡亮一	東日工事株式会社
〃	御子柴光春	日本道路公団技術部
〃	○光家康夫	建設省道路局
〃	○森山謙久	清水建設株式会社
〃	○矢田勝巳	日本コンクリート株式会社

前委員	稲見俊明	建設省道路局
〃	○川上圭二	新日本製鐵株式会社
〃	○佐藤直樹	建設省道路局
〃	○田中秀一	清水建設株式会社
〃	信高裕	建設省道路局
〃	藤原稔	建設省道路局
〃	本山蒔	建設省道路局
〃	○山田健太郎	名古屋大学工学部

注：本委員会の構成は昭和57年5月現在。なお、前委員は退任時の勤務先を示す。

鋼構造架設施工指針

目 次

第 1 章 総 則	1
1.1 適用範囲	1
第 2 章 測 量	2
2.1 測量一般	2
2.2 架設前の測量	2
2.3 架設途中の測量	3
2.4 架設後の測量	5
第 3 章 仮設構造物	6
3.1 仮設構造物	6
3.2 仮設構造物の基礎	6
3.3 地耐力が不足する場合の仮設構造物の施工	7
第 4 章 架設機材	9
4.1 架設機材	9
4.2 クレーン等	9
4.3 鉄塔およびベント	12
4.4 架設桁、手延機	12
4.5 ワイヤロープおよび付属品	13
4.6 ウインチ	14
4.7 ジャッキ	15
4.8 足 場	17
4.9 ゴンドラ	18
第 5 章 部材の組立	20
5.1 部材の組立	20
5.2 高力ボルト	21
5.3 現場溶接	22
第 6 章 架設作業	25
6.1 架設作業上の留意点	25
6.2 架設作業中の仮置	25
6.3 こう上こう下作業	25
6.4 引出作業	26
6.5 横取作業	27

6.6	張出作業	27
6.7	吊上げ吊下げ作業	27
6.8	ワイヤーロープのクリップ止め	29
第 7 章	定着部コンクリートの施工	30
7.1	一般	30
7.2	定着部コンクリート天端の調整	30
7.3	ベースプレートとモルタル	31
7.4	無収縮モルタルの施工	32
7.5	アンカーブロックの施工	34
第 8 章	アースアンカーの施工	36
8.1	施工計画	36
8.2	機材	36
8.3	材料の保管	37
8.4	削孔	37
8.5	引張材の挿入	37
8.6	一次注入	37
8.7	緊張	38
8.8	二次注入	38
8.9	施工管理	39
8.10	試験	39
第 9 章	架設工事の検査と記録	41
9.1	仮設建造物の検査と記録	41
9.2	本体建造物の組立検査と記録	42
9.3	現場継手の検査と記録	44
9.4	その他装置の検査と記録	47
第 10 章	施工精度	50
10.1	仮設建造物の製作精度	50
10.2	手持資材およびリース材	53
10.3	仮設建造物の据付精度	53
10.4	本体建造物の据付精度	54
第 11 章	安全と環境対策	59
11.1	安全管理	59
11.2	安全管理体制	60
11.3	安全対策	61
11.4	工事騒音, 振動の対策	62

11.5 近接構造物への影響	63
11.6 地下埋設物, 高圧線の防護	64
11.7 交通規制	64